

岸本賢治 fretless guitar
石川広行 trumpet
岩川光 quena

2022 10月29日(土)

開場 13:00 afternoon live

開演 13:30

(2ステージ入替無)(1drink=600)

MC=3800+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



石川広行

1984年3月17日北海道室蘭市生まれ。高校時代にジャズと出会う。高校卒業後に札幌での演奏活動を行った後、洗足学園音楽大学に入学。在学中にはパーカリー音楽院にも留学した。洗足学園音楽大学を卒業後、都内各所で活動中。これまで原朋直氏、佛坂咲千生氏、タイガー大越氏、Hal Crook氏に師事する。これまでの主な参加バンドやプロジェクトは、象眠舎、Millennium Parade、大橋トリオ & The Pretaporters, Blacksheep, Fluid Space, Octagon, 宮本謙介 Big Band, 佐藤恭子リトルオーケストラ, 狭間美帆 NEO-SYMPHONIC JAZZ, 三木俊雄フロントペー ジオーケストラ, 廣瀬真理子と Purple Haze 等。



岸本賢治

1991年10月7日静岡県生まれ、AB型。子供のころよりギターを通してブルース、クラシック、ロック等幅広い音楽に親しむ。20歳のころ、ジム・ホールに音楽に感銘を受けジャズを志す。これまでに直居隆雄氏、井上智氏、橋爪亮督氏などに師事。またアラブ古典音楽を常味裕司氏に師事。ZUJA Recordsより石川広行氏(tp)との即興デュオアルバム、「Improvisations Vol.1&2」が好評発売中。日本ではめずらしいフレットレスギター奏者としても活動しており、アラブ古典音楽の要素を取り入れた自分なりの音楽を模索中。現在は自分で設計したオリジナルのダブルネックギターを用い、ジャンルに囚われない活動を続けている。



岩川光

他の追従を許さぬ圧倒的な演奏技術で「ケーナの革命者」と呼ばれる世界最高峰のケーナ奏者にして、幅広い音楽言語を吸収し、独創的な作品を生み出し続ける作曲家。9歳よりケーナを始め、12歳より演奏活動に入る。10代を通してリコーダー演奏、作曲、指揮法を学ぶ。こうした知見と技術を活かして生み出した独自のケーナ奏法は世界的な話題を呼び、これまでのケーナのイメージを覆す演奏を展開。南米・ヨーロッパを中心に音楽祭出演や数々のツアー公演、ディノ・サルーシ、故ハイメ・トーレスら世界的巨匠との共演、キケ・シネシとのデュオ、古楽アンサンブル「カペラ・メディテラネア」のソリストとして参加したラジオ・フランスでの公演などを通じ、幅広い分野で国際的に高い評価を得る。録音作品も非常に多く、またその内容はバラエティに富み、国内外の専門誌で年間ベストに選出されるなど好評を博す。常に世界規模で複数のプロジェクトを展開。近年テレビや舞台の音楽録音を通じ、日本のお茶の間でもその音を耳にする機会が増えている。現代の作曲家との協働、古代楽器の演奏復元、製作家として新モデルの開発など、その活動は多岐にわたる。また南米を中心にマスタークラスの開講も多い。2013年よりブエノスアイレスに暮らすも、新型コロナ・パンデミックで2020年8月一時帰国。2022年1月には、クラシック演奏家の登壇門として名高い東京オペラシティ主催の名物企画『B→C』にケーナとしては史上初の出演を果たし、各方面より惜しめない賞賛を得た。